

積雪・凍結路での運転は慎重に

冬道は、積雪や路面凍結等によるスリップ事故が発生しやすくなることから、安全な速度、十分な車間距離、早めの出発を心がけて、交通事故を防止しましょう。

今年は、暖冬と言われていますが、1月24・25日には、積雪等で県内でスリップ事故が多発しました。特に早朝や深夜帯などに運転する場合は、注意が必要です。

◇ 発進するときは「空転スリップ」に注意！

- 積雪や凍結路面では、乾燥路面と同じような操作をするとタイヤが空回りする「空転スリップ」が発生します。
- 発進時は、**アクセルをじわり**と踏み込む。ATのスノーモードやMTの2速発進も有効です。



◇ スリップ事故はブレーキの操作ミスが原因！

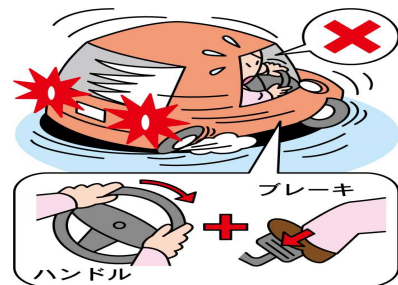
- 冬道では、夏場に比べて制動距離が大幅に伸びます。ブレーキを強く踏むと「滑走スリップ」が発生します。
- 早めのブレーキ操作を心掛け、**ペダルをソフトに**踏み込み、タイヤのロックを防止しましょう。 ※ABSのスイッチを切らないこと

◇ ハンドルを操作するときはブレーキやアクセルをゆるめる！

- 右折や左折時にブレーキを踏み込んで減速しながらハンドルを切ると、横滑りやスピンの危険性が高まります。**十分に減速してからハンドルを切りましょう。**
- 進路変更などで、加速しながらハンドルを切ることも、横滑りの原因となります。

『滑走事故防止3原則』

- ① **急ブレーキ**をかけない
- ② **急ハンドル**を切らない
- ③ **急加速**をしない



『冬道の安全運転 1・2・3 運動』

1割のスピードダウン **2倍**の車間距離 **3分**早めの出発

冬道の交通事故防止のポイント



冬道の安全運転1・2・3運動

1割 のスピードダウン

2倍 の車間距離

3分 早めの出発

冬道の走行時は、積雪、凍結等による滑走事故の多発が懸念されることから、安全な速度、車間距離の保持、早めの出発を実践・習慣化しましょう。

滑走事故防止3原則

急 ブレーキをかけない

急 ハンドルを切らない

急 加速しない

特に注意が必要な道路状況

いずれも凍結しやすいポイントです。危険な場所の手前であらかじめ減速しておくことが大切！

そのためには



ことが重要です



橋



カーブ



トンネル出口

出発前の注意点

- 窓ガラスが凍結したまま出発しない！
- ルーフやヘッドライト、ブレーキランプ、サイドミラーの雪も必ず除去！

この状態で安全運転できますか？



フロントガラスが凍結したまま



走行中にルーフの雪がフロントガラスに落ちてきたら…

バイク・自転車での外出は危険

積雪、凍結時、また降雪が予想される場合は、事故防止のため、バイクや自転車の利用を自粛しましょう。



車道を歩くのは危険

車道は、積雪等により車両が滑走してくるおそれがあり大変危険です。積雪等で歩道が歩きにくい場合でも、車道を歩くのはやめましょう。

